

世界知的所有権機関 (WIPO)、欧州共同体商標 意匠庁 (OHIM) が提供する商標情報について

The trademark information which World Intellectual Property Organization (WIPO), Office for Harmonization in the Internal Market (OHIM) provide

一般財団法人日本特許情報機構 特許情報研究所調査研究部研究企画課副主幹

木住野 勝也

PROFILE: 1999 年特許庁入庁、2003 年から商標審査・商標行政等に従事。2012 年 7 月より現職。

TEL 03-3615-5513

1 はじめに

近年の経済のグローバル化に伴い、国際的な取引を行う企業は主要国において商標権の取得、活用が必須となっている。

そのため、海外における商標情報の調査の重要性も増していることから、2012年の Japio YEAR BOOK への寄稿では、海外の商標情報を得るための有用なツールとして、アジアの特許庁等が提供している検索サービスを紹介した。今回も前回に引き続き、海外の商標情報を調査する上で有用となる検索サービスを紹介したい。

今回は、世界知的所有権機関 (WIPO) や欧州共同体商標意匠庁 (OHIM) などの国際的機関が提供している無料の検索サービスを紹介する。

なお、紹介している情報の内容は2013年7月現在のものである。

2 世界知的所有権機関 (WIPO) が提供する検索サービス

2.1 Global Brand Database (グローバルブランドデータベース)¹

参加各国の商標情報等を横断的に検索できる無料のデータベース (図 1 参照)。参加国は米国特許商標庁、カナダ特許庁、オーストラリア特許庁等で、現時点では日本国特許庁は参加していない。

参加国の商標情報だけでなく、WIPO のマドリッド制度の国際商標登録データ、リスボン協定の原産地名データ、パリ条約第6条の3 (国の紋章等) データ等も同時に検索することができる。

言語は、英語、フランス語、スペイン語で提供されている。

多くの検索項目やフィルターが用意されているが、直感的に操作できるインタフェースとなっている。また、後程紹介する OHIM の運営する商標検索システムの TMveiv とのリンクも検討されている。



図 1 Global Brand Database 検索画面

2.2 Madrid Goods and Services Manager (マドリッド G&S マネージャー)²

国際出願の出願書類に記載する指定商品・役務のリストを作成する際に、WIPO や各指定国 が認める商品・役務の表示を参照したり、他言語に翻訳することができ

1 <http://www.wipo.int/branddb/>

2 <http://www.wipo.int/mgs/>

る無料のサービス（図2参照）。

2013年5月からは日本語も追加され、さらに使いやすくなった。



図2 Madrid Goods and Services Manager 日本語検索画面

前記2つの検索サービスは、WIPO ホームページの知財情報等を提供するポータルサイト「WIPO GOLD」³ からアクセス可能となっている（図3参照）。

なお、「WIPO GOLD」では、商標だけでなく特許、意匠に関するツール類、統計情報等も参照することができる。

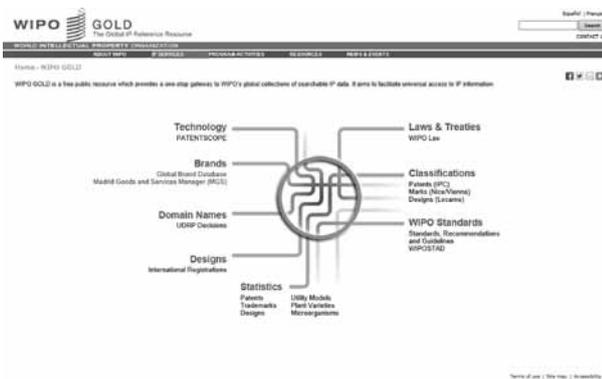


図3 WIPO GOLD ウェブサイト画面

2.3 ROMARIN (ロマリン)⁴

ROMARIN は「Read-Only-Memory of Madrid Active Registry Information」の略称で国際商標情報のデータベースである（図4参照）。

これはマドリッド制度の下で記録されたすべての国際

登録に関する情報を提供するデータベースであり、出願中のデータも収録されている。

言語は英語、フランス語、スペイン語で提供されている。

主な機能としては、国際登録の検索やステータスの確認等が可能である。WIPO ホームページからアクセスできる。



図4 ROMARIN 簡易検索画面

3 欧州共同体商標意匠庁 (OHIM) が提供する検索サービス

3.1 CTM-ONLINE (シーティーエムオンライン)⁵

CTM (Community Trade Mark : 欧州共同体商標) を検索できるサービス（図5参照）。OHIM ホームページからアクセスできる。



図5 CTM-ONLINE 検索画面

3 <http://www.wipo.int/wipogold/>

4 <http://www.wipo.int/romarin>

5 <http://oami.europa.eu/CTMOnline/>

インタフェースの言語は OHIM の公式言語の英語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、イタリア語を選択できる。

3.2 TMview (ティーエムビュー) ⁶

OHIM を含む EU 域内の各知財庁及び一部の EU 域外の知財庁 ⁷ の商標情報について検索できるシステムで 2010 年から稼働している (図 6 参照)。OHIM ホームページからアクセスできる。

前述の CTM-ONLINE は、検索対象が CTM だけだが、TMview は EU 域内の各知財庁のデータベースも横断的に検索できる。

インタフェースの言語は参加している各国の言語に対応しており、右上のプルダウンメニューで変更できる。

現在、日米欧中韓の商標五庁で構成される TM5 (商標 5 庁会合) の場において、この TMview に欧州以外の国が参加することに関し、その可能性の研究がなされており ⁸、また、前述した WIPO の Global Brand Database とのリンクも検討されている ⁹ ことから、今後、参加する国が増えればグローバルな商標情報の検索ツールとなる可能性がある。

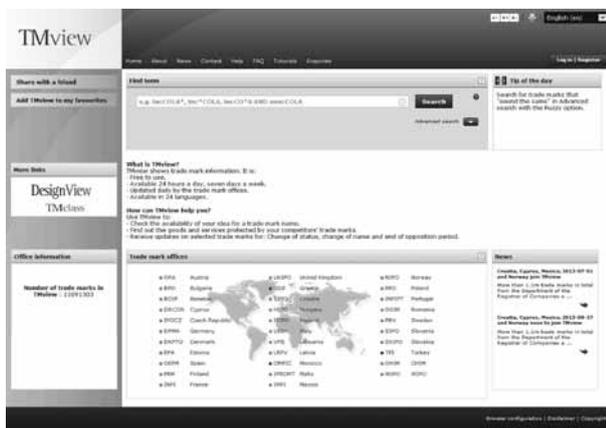


図 6 TMview 検索画面

3.3 TMclass (ティーエムクラス) (旧名称 Euroclass (ユーロクラス)) ¹⁰

参加各国の知財庁において、出願の際に必要な商品及び役務の名称が受け入れ可能か等を検索できるオンラインサービス (図 7 参照)。

主な機能としては、出願の際の商品・役務名の検索、参加国での商品・役務名の採否及び各国語表記への翻訳等である。OHIM ホームページからアクセスできる。

当初は EU 域内の各知財庁で受け入れ可能な商品・役務名を検索するツールとして Euroclass という名称でスタートしたが、その後、EU 域外の米国特許商標庁などが参加し、続いて日本国特許庁、韓国特許庁なども参加したことから、現在は名称を TMclass と変更している。

インタフェースは参加している各国の言語で提供されており、右上のプルダウンメニューにより日本語も選択できる。ヘルプも日本語で詳しく記載されている。



図 7 TMclass 日本語検索画面

6 <http://www.tmview.europa.eu/>
 7 2013 年 7 月 1 日から EU 域外のメキシコ、ノルウェーが参加。
 8 特許庁 HP「商標五庁会合 (TM5) (日米欧中韓)」協力プロジェクトの概要
<http://www.jpo.go.jp/torikumi/kokusai/kokusai2/pdf/tmfive/project.pdf>
 9 JETORO 欧州知的財産ニュース (2012 年 11 月 3 日)
<http://www.jetro.go.jp/world/europe/ip/pdf/20121103.pdf>

10 <http://tmclass.tmdn.org/>

4 おわりに

冒頭にも述べたとおり、経済がグローバル化する中、商標も世界各国へ出願されるケースも多くなり、海外の商標情報の調査が重要となってきている。しかし、世界の国々における商標情報の調査は容易なものではない。

インターネット上には商標に関する様々な検索サービスが存在するが、今回紹介した WIPO や OHIM のデータベースは、将来、さらにグローバルな検索システムに発展する可能性がある。

また、マドリッド協定議定書を利用した出願も、今後、加盟国の増加などでさらに利用が進むものと思われることから、ROMARIN などのデータベースは出願案件の各国の審査状況などを確認するのに役立つものと考えられる。

これらのデータベースを検索できるツールがインターネットにより無料で利用できることは、商標情報を調査する者にとって大変便利である。

今回、紹介したツールが皆様の商標情報の調査の一助となれば幸いである。